

2011年1月24日

ドンギ・スノロ LNG プロジェクトの最終投資決定

三菱商事は、今般、インドネシア共和国中部スラウェシ州において、ドンギ・スノロ LNG 社 (DSLNG 社、当社 51% 出資) を事業主体とする液化天然ガス (LNG) 製造・販売事業 (ドンギ・スノロ LNG プロジェクト) の最終投資決定を行いました。プロジェクトの総投資額は、約 2,800 百万米ドル (約 2,300 億円) となります。当プロジェクトは、当社として初めて最大株主となって事業を主導する LNG プロジェクトです。また、当プロジェクトは東南アジア最大の天然ガス資源国で世界第 3 位の LNG 輸出国であるインドネシアにおける第 4 の LNG プロジェクトであり、当社としてはタングー LNG プロジェクトに続く同国で 2 番目の LNG プロジェクト参画となります。

DSLNG 社は 2014 年より年間約 200 万トンの LNG および随伴コンデンセート (原油換算約 47,000 バレル/日) の製造・販売を開始する予定であり、LNG プラント建設の EPC 契約 (設計・調達・建設を含む一括請負契約) を日揮株式会社との間で締結します。DSLNG 社は、当社およびインドネシア国有石油・ガス会社プルタミナ社、同民間最大手エネルギー会社メドコ・エナジー・インターナショナル社 (メドコ社) の間で 2007 年 12 月に設立され、これまでプラント建設のための基本設計作業やプロジェクト関連諸契約の交渉を含む事業化調査を行って参りました。また、今般、DSLNG 社は中部電力株式会社および九州電力株式会社と LNG 長期引き取りに係る基本合意に達しており、韓国ガス公社とも長期引き取り契約の交渉最終段階に入っております。

当社は今回の投資決定に合わせ、特定目的会社 (SPC) 経由での出資へと変更すると共に、メドコ社の資金拠出分の一部を同 SPC が引き受けることで、DSLNG 社への同 SPC 出資比率を 59.9% に引き上げることになります。なお、同 SPC に対しては、既に世界最大の LNG 買主である韓国ガス公社が共同事業者として 25% 出資することで合意しており、日本・韓国・インドネシアの 3 カ国による初の合同プロジェクトとして立ち上げを目指し、3 国間のエネルギー分野の連携の歴史に新たな 1 ページを刻んで参ります。

当プロジェクトは、国際メジャー主体の LNG プロジェクトへの株主参画と本質的に異なり、当初から当社が計画を主導、完工後はプラント操業の主役を担うという本邦企業初の試みでもあります。また、当プロジェクトの規模は、需要地から遠隔地に位置し未開発であった中小規模ガス田の有効活用と商業化への道を開くものであり、当社はカンゲアン石油・ガス鉱区の開発による国内向けガス供給と合わせ、成長著しいインドネシア経済へ一層の貢献を図って参ります。

当社は、今回の決定を機に、1969 年のアラスカプロジェクト以来長年にわたって培った LNG ビジネスのノウハウと機能の更なる高度化を図り、日本および東アジア地域への一層の安定確保を目指します。

以上

【ドンギ・スノロ LNG 社の概要】

会社名	PT. Donggi-Senoro LNG(インドネシア法人)
本社所在地	インドネシア共和国ジャカルタ市
資本金(2010年12月末)	64.5百万米ドル
代表者	イエニ・アンダヤニ社長
株主構成(2010年12月末時点)	当社 51%、プルタミナ・エナジー・サービスズ社 ^{*1} 29%、メドコ LNG インドネシア社 ^{*2} 20%
株主構成(最終投資決定後)	スラウェシ LNG ディベロップメント社(当社 75%、韓国ガス公社 25%) 59.9%、プルタミナ・フル・エナジー社 ^{*3} 29%、メドコ LNG インドネシア社 11.1%
事業内容	LNG 製造・販売
設立年月日	2007年12月28日
LNG プラント建設地	インドネシア共和国中部スラウェシ州バンガイ県バトゥイ郡ウソ村

*1 プルタミナ社の 100%子会社(シンガポール法人)。

*2 メドコ・エナジー・インターナショナル社の 100%子会社(インドネシア法人)。

*3 プルタミナ社の 100%子会社(インドネシア法人)、プルタミナ・エナジー・サービスズ社から株式移管の予定。

【LNG プラント建設地】



【プロジェクトスキーム図】

